

# 園だより



学校法人キリスト教北光学園 北光幼稚園



2022年度 12月 特別号

電話・ファックス 011-891-3190 / 〒004-0021 札幌市厚別区青葉町7-1-32  
ホームページアドレス <https://hokkoyouchien.com/>

この『園だより 特別号』は、認定こども園移行に向けて、全園児家庭と卒園生に配布いたします。

## シン・ほっこうようちえん

園長 南部 一郎

1919年（大正8年）6月、大通の札幌組合教会（札幌北光教会の前身）の幼稚科としてスタートした北光幼稚園。1968年（昭和43年）6月には、この青葉町で新たに保育を始めました。そして、今の園舎が建ったのは、33年前の1989年（平成元年）でした。



北光幼稚園創立当時の先人たちが理想としたのは、『(幼児の) 円満なる発達、やがて知的発達の基礎であり、人類生活の幸福を生む根本であり、この理想に立てる幼稚園はどうしてもなくてはならぬものである。愛の神のもとに保育せられる者は幸福であり、園児を通じてその保護者の家庭が祝福されることは、われわれの切なる祈りである。(札幌北光教会70年の歩みより)』ということでした。私は、北光幼稚園の保育で何が大切なのかを考えると、いつもこの言葉を思い出します。『神さまのもとに祝福されて育つ子どもたち、そして園児を通して家庭が祝福されることが私たちの願いである。』ということ。

ちょうど1年前の12月、北光幼稚園の理事会では、2023年度に『幼保連携型認定こども園』に移行することを決定しました。人は集まるのかな？建物はどうなるの？赤ちゃんも来るんだよね？お金は？…と、たくさんの『？』や、心配がありました。しかし、この厚別区青葉町において、地域の方々の要望に応え、そして子どもたちの成長のためにこれからも、はたらいていくのだということを決意しました。4月には札幌市より認定こども園への移行が認可され、7月には園児も一緒に起工式を行い、長くあそんだ園庭ともお別れしました。園庭にあった遊具や大きな木ともお別れするのは、とても寂しい思いがしましたが、そこに大きな機械やたくさんの人がやってきて工事が始まると、心がわくわくしてきました。8、9月には基礎工事で土台が作られ、10月以降は外の壁の工事が行われてきました。12月の今、現場は白いシートで覆われていますが、最後のコンクリート打設が終わり、外壁が完成しています。新園舎は2月末には完成し、3月初めには引越しをして、現園舎が取り壊されます。

来年4月には、『認定こども園北光幼稚園』として、新たなスタートを切る北光幼稚園。タイトルの『シン・ほっこうようちえん』…それは、新しい『新』であり、原点を見つめる『真』であり、神さまと共にある『神』であると思っています。今まで北光幼稚園と関わってくださった皆様、どうかこれからも『シン・ほっこうようちえん』を応援してくださるようお願いいたします。

新園舎の中は、こうなります！

新園舎内見取図 1階

職員室	玄関	トイレ	3歳児	2歳児・ 満3歳児	0・1歳児	沐浴室
	靴箱					調乳室
園長室	階段 ↓	廊下			階段	機材室
		子育て 支援室	厨房			

新園舎内見取図 2階

ステージ	遊戯室			4歳児	5歳児
用具室	階段	図書室	会議室	廊下	
機材室			一時預かり室	配膳室	トイレ

☆新園舎工事を振り返って…



7月 園庭とお別れ



7月 起工式



7月 木も遊具もなくなり  
寂しい園庭



9月 基礎工事



10月 型枠工事

# ホーム・カミング・デイ

～思い出の園舎とお別れ～

卒園したみなさん、あそびに来ませんか？

2023年1月28日（土） 午後1時～3時

<この時間の間は、いつ来てもけっこうです。>

- ・思い出のメッセージを書いてください。
- ・思い出のお部屋に入れます。
- ・ほかにも、おたのしみが・・・。

ご参加いただける方は、1月20日（金）までに北光幼稚園まで電話か、幼稚園ホームページの連絡フォームからお知らせいただければ幸いです。

（電話：011-891-3190）（ホームページ：<https://hokkoyouchien.com/>）

※当日、とび入り参加も大歓迎です。なお、新型コロナウイルス感染拡大の場合は、中止になる場合もあります。

